

平成19年度概算要求における科学技術関係施策の優先順位付けについて(抜粋)

独立行政法人物質・材料研究機構関係

(金額の単位:百万円)

優先 順位	施策名	所管	概算 要求額	前年度 予算額	経済 成長	戦略 重点	施策の概要	優先順位の理由	留意事項
S	ナノマテリアルの社会受容のための基盤技術の開発	文部科学省 NIMS	802	0		○	本施策は、ナノマテリアルを安心して使うことができるように、その環境及び生体影響への評価法の確立を目指し、ナノマテリアルの社会受容が円滑に行われるための技術基盤づくりを行うものである。	○社会的に重要なテーマであり、実施が必要な施策である。 ○既に実施されている関連研究との関係を明確にし、それらの成果を活かせるよう、情報交換も密にししながら、積極的に実施すべきである。	○この課題は、関係省庁が役割分担を明確にし、連携して取り組む必要がある。 ○実施には、NIMSのみならずAIST、NIHS、NIESなど独法研究機関間の協力も必要である。 ○生物個体の生体反応までを研究対象とすべきである。
A	次世代白色LEDのための発光材料の開発	文部科学省 NIMS	584	0		○	蛍光灯代替となる白色LED照明の普及を加速するために、青色光励起下での高効率発光、高出力に対する耐久性、色彩再現性のための中間色発光特性に優れた高機能蛍光体材料を開発する。物質のナノ構造と発光機構との関係を明らかにするとともに高度合成プロセスを活用することにより、発光色をチューニングする技術、欠陥制御による発光効率の向上、高度実装の基盤技術を確立する。	○自然光に近い白色LEDは、実用化されれば投資効果は大きく、また民生用として望まれる光源であり、NIMS独自の研究成果を活かし、出口へ向けて歩み出したことは大きく評価できる。 ○変換効率の目標値に向けたロードマップを明確にし、意欲有る企業との連携を図るなどにより、開発実用化に向けて、着実に推進すべきである。	○変換効率の目標値達成に向けた具体的アプローチを明確にすること。